

■歳入歳出決算状況

会 計		年 度	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		令和3年度	321億5625万	312億6275万	8億9350万
		令和2年度	361億0343万	351億4960万	9億5383万
特別会計		令和3年度	123億7271万	122億0943万	1億6328万
		令和2年度	120億5124万	118億7477万	1億7647万
事業会計 (収益的収支のみ記載)	水道	令和3年度	11億5200万	10億4947万	1億0253万
		令和2年度	11億5232万	10億0587万	1億4645万
	下水道	令和3年度	25億8631万	25億9585万	△954万
		令和2年度	26億1298万	26億0933万	365万
	病院	令和3年度	59億2108万	54億5660万	4億6448万
		令和2年度	58億6360万	53億1697万	5億4663万
	介護老人保健施設 (陽光の里)	令和3年度	4億7040万	4億8405万	△1365万
		令和2年度	4億9303万	4億8713万	590万

危険信号※

■健全化判断比率の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	県内市町平均 (令和2年度)	早期健全化基準
実質赤字比率 (一般会計を中心とした赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	12.60%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	17.60%
実質公債費比率 (年間の借返済額の割合)	10.0%	9.3%	9.5%	9.6%	5.4%	25.0%
将来負担比率 (将来負担が見込まれる負債の割合)	31.1%	22.6%	15.0%	1.3%	-	350.0%

◆健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたものです。

※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります。

# 予 算

## 常任委員会

委員長 高木 広和

開催日 8月31日(水)

9月26日(月)・30日(金)

■補正予算の主な事業

○障がい者社会福祉施設等整備事業  
常に介護を必要とする障がい者等に、入浴・排せつ・食事等の介護や創作活動などの機会を提供する施設の整備に対し、補助金を交付します。

○新型コロナウイルススワクチン接種事業  
オミクロン株に対応した新型コロナウイルススワクチン追加接種に必要な経費を計上します。

○廃棄物処理施設災害復旧事業  
本年3月に大雪により今津不燃物処理場の敷地内法面が崩落した

ことから、災害復旧工事を行います。

○農業用燃油等高騰対策緊急支援事業  
燃油等の高騰により影響を受ける農業者の負担軽減のため、農業経営に係る動力光熱費の補助を行います。

○子ども家庭総合支援拠点整備事業  
子ども子育て分野での総合支援として、「子ども家庭総合支援拠点」を整備するための実施設計を行います。

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業  
電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増により、家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を給付します。

採決の結果

予算常任委員会が付託を受けた8議案は、いずれも「可決すべきもの」と決定しました。